

「内向き」と「外向き」 わかりやすい職業奉仕



国際ロータリー第2780地区
藤沢ロータリークラブ 瀧澤秀俊



こんな時どうしますか？

皆さんに質問をします。自分ならどうするか考えてみて下さい。

- 問1 あなたの会社で作った製品は保証期間が1年です。
お客が製品が故障したと修理を依頼してきました。しかし、
購入から1年以上経っています。しかもよく見ると、自然の故障で
はなく、使い方に間違いがあったことを隠しているようです。

あなたならどうしますか？

- ①有償で修理する
- ②無償で修理する



問2 あなたは自動車部品製造業を営んでいます。
その主力商品に欠陥が判明。客の命に関わるほどではないが、
これを公表して全品回収修理をすると莫大な費用がかかり、
倒産の可能性大。 あなたならどうしますか？

- ①公表しないで順次改良品に切り替える
- ②公表して全品回収修理する



道しるべ

- このように、日々の仕事の中で、難しい選択を迫られた時に、

「**ただのビジネスマン**」として行動するか、
それとも

「**ロータリアンらしく**」行動するかが問われています。

- では、「ロータリアンらしい行動」とはどうすればいいのでしょうか？
- それは、「奉仕の理念」を「道しるべ」とし、自分自身を律し、決断し、自分の職業を遂行することですが・・・
これだけではピンと来ませんよね。



もう一つ質問です。

○ 問3

ロータリアンといえども、仕事が成功し、経営が安定しなければ奉仕もできません。仕事を頑張り、ライバルに打ち勝って利益を上げ、そしてその儲けから、財団に高額の寄附をし、ガバナーから表彰されました。

これも、「職業奉仕」である。

○か ×か？



- 答えは×です。
- 職業で儲けたお金を寄附することも、尊い「奉仕」です。でもそれは、バイトの高校生でもできる「ただの奉仕」世の中に数ある慈善団体と何も変わらない。
- 赤い羽根募金に100万円寄附しただけでは「職業奉仕」とは言わない。
- **ロータリーは、さらに一歩その上に行く！**



職場に持ち帰る

- 寄付して終わり、奉仕活動に参加して終わりではない！
- 寄附や奉仕活動で学んだ「奉仕の理念」を、自分の職場に持ち帰り、その「奉仕の理念」にのっとって自分自身を律し、職業を遂行する。



- つまり、自分の職場で、日々の仕事の中で、「世のため人のため・真実・公平・自己犠牲」を道しるべとして行動する。
そこまでやって初めて「**職業奉仕**」となるのです。



そもそも、

「**職業**」は、自分のための金儲けの手段（**現実**）

「**奉仕**」は、世のため人のため（**理想**）

「職業奉仕」は、矛盾する2つのものが合体しているので、イメージしにくく、難解なものになっています。

一見相反する「職業」と「奉仕」、どうやったら折り合いが付くのでしょうか？

→この点がわかれば、「職業奉仕」がわかります！



PROFESSION と BUSINESS



聖職者・僧侶

人々にひたすら神の道を説き、愛情を持って接し、悩みを救う。人々は感謝し、お布施を差し出す。しかしそれは結果にすぎず、僧侶から請求するものではなく、貧しければ出さなくてもかまわない。それ故に、聖職者は世の中から信頼され尊敬される。

→これが p r o f e s s i o n



経済人・商人

事業による自らの経済的成功と繁栄を目指す。

→これが b u s i n e s s



一見、正反対ですが・・・





- 「**職業奉仕**」とは、professionの精神をもって businessの世界をコントロールしていこう！ 聖職者の心で商売しよう！という考え方。

- つまり、自分の利益ためには手段を選ばず、ライバルを打ち負かしてでも利益追求する、というのではなくて、聖職者の心、世のため人のため・真実・公平を考えながら、時には自己犠牲を払ってでも、誠実に仕事に励みましょう、ということ。
- そのコントロールができれば、「職業」と「奉仕」は同じ方向（世のため人のため）を指し、全く矛盾しないのです。

